

地域	東京都千代田区	認定日	平成19年6月22日	3 - 19 - 078
事業分類	情報通信	テーマ分類	IT	

## 事業名: 色彩配列を用いた独自の汎用自動認識技術カラービットコードの事業化

### 事業概要(新規性、市場性等)

- ・現在、自動認識コードとしてはバーコードや二次元コードが普及しているが、これらのコードは大きさに限界があり、形状も規定されている。また、色を使ったコードも存在するがこれまでの方式では退色・変色による不安定要因や、歪み・ぼけなどによる読み取り障害が存在していた。
- ・本連携体によるカラービットコードは異なる3色の単純な組み合わせにより情報を記録するため、上記の制約が存在しない上、信頼性が高く、さまざまな分野への応用が可能となった(曲面や狭小エリアへの印刷、洗濯をする繊維製品へのコード付加など)。
- ・本連携体によるカラービットコードの応用範囲は広く、織ネーム、ID付きストラップ、プリント基板等の端面などの分野に拡大し、新規需要の掘り起こしを行う。

### 事業推進体制

新コード製品製造

大手服飾資材  
商社

新コード対応機器製造

プリント基板検査機  
メーカー

応用研究・共同開発

携帯電話コンテンツ  
開発会社

金融支援

三井住友銀行

### 連携体の構成

コード開発

コア企業: ピーコア(株)  
(東京都千代田区)  
・基本コードの開発  
・システムソフトの開発

プリント技術

(株)マイクロジェット  
(長野県塩尻市)  
・自社開発ヘッドによる専用プリンターの開発、製造手配、販売

織物技術

(株)出口織ネーム  
(石川県白山市)  
・ジャガード織機による布タグの開発、製造、販売

### 支援予定メニュー

補助金  
低利融資  
信用保証  
投資育成会社による出資  
特許料減免



1.5次元カラービットコード



1次元カラービットコード

sample



織ネーム例



布タグ例



1 cm  
微小部品例

## 連携のきっかけ、特徴

- ・カラービットコードはさまざまな分野への応用が可能である。
- ・布タグ、ID付きストラップ等、繊維製品の市場化にはコア企業のコード技術と(株)出口織ネームの織物技術が用いられる。コア企業は、カラービットコードの特性を生かした応用分野を発掘すべく、平成18年6月に知人の紹介を通じて、優れたジャガード織り技術を持つ(株)出口織ネーム社にアプローチした。両社は技術を持ち寄り、本コードを使用した布タグを生産・販売するビジネスを共同で行うことで合意し、同年11月に業務提携契約を締結した。大手服飾資材商社が支援者として販売を担当する。
- ・更に、インクジェットプリント技術を使って印刷することも可能で、しかも微細な印刷が可能であることから(株)マイクロジェット社とも連携し、プリント基板の端面や微小デバイスへのプリント等多様な分野への適用がテストされている。

## コア企業の会社概要

企業名・代表者	ビーコア株式会社 代表取締役 漢人 邦夫	
所在地	東京都千代田区西神田1-3-6	
創業	平成18年4月	
資本金・従業員数	10,000万円	4名
業種	情報サービス業	
TEL	03-5217-5661	
FAX	03-5217-5664	
ホームページ	<a href="http://www.b-core.co.jp">http://www.b-core.co.jp</a>	
e-mail	sales@b-core.co.jp	

## PR等その他の情報

- ・本年5月、第30回JPCA展に「エッジマーキングシステム」を実演展示。プリント基板の端面に専用プリンターでコードを付加し、隣のリーダーで即座に読取れることに好評を得た。
- ・本年5月、「カラービットコード」商標登録
- ・本年7月、東京ビッグサイトで行われる「International Fashion Fair」に「Color Information Label」を出口織ネーム社が出展予定。1.5次元カラービットコードを衣料品の織ネームに付加するシステムを展示する。